

令和2年度

事業報告書

3 主務官庁の許可・認可又は承認の状況

年 月 日	許可等の事項
令和2年6月25日	京都府知事へ令和元年度事業報告書及び収支決算について提出
令和3年3月30日	京都府知事へ令和3年度事業計画書及び収支予算について提出

4 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の取組

「京都府埋蔵文化財調査研究センター新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の取組」に基づき各事業に取り組んだ。

5 事業

(1) 発掘調査受託事業

令和2年度発掘調査受託事業収入の当初予算額は、1,100,114,000円であったが、調査の進捗状況等により、最終的な契約額は、1,123,309,109円(契約件数19件)となった。内訳は、別添資料1のとおりである。

区 分	当初予定 (A)	契約実績 (B)	差異 (B) - (A)
受託事業費	1,100,114,000円	1,123,309,109円	23,195,000円(増)
契約件数	23件	19件	4件(減)
発掘調査(北部)	4件	4件	0件
発掘調査(中部)	6件	5件	1件(減)
発掘調査(南部)	7件	6件	1件(減)
遺物整理	5件	3件	2件(減)
普及啓発	1件	1件	0件

調査を実施した事業のなかで、特に、顕著な調査成果が得られたものは、次表のとおりである。

番号	遺跡名	所在地	主要調査成果
1・4	小樋尻遺跡	城陽市富野	<ul style="list-style-type: none"> 縄文時代晩期の氾濫流路を弥生時代後期～奈良時代に基幹水路として利用 古墳時代前期の流路から木組遺構や井堰を検出し、建築部材や農工具のほか祭祀に関係する導水施設を流路内で検出 古代の斎串や人形などが出土
3	芝山遺跡	城陽市富野	<ul style="list-style-type: none"> R-4地区：古墳時代中期の埋葬施設(木棺直葬)2基。埋葬施設SX01から蛇行剣2振、鉄鏃3点、刀子1点。埋葬施設SX18から鉄剣1振、鹿角装刀子1点。蛇行剣は府内3・4例目 V-5地区：円墳2基、方墳1基。奈良時代の掘立柱建物3棟以上

番号	遺跡名	所在地	主要調査成果
7	新町遺跡	京丹後市峰山町	<ul style="list-style-type: none"> 縄文時代早期の土器（深鉢）埋納土坑 古墳時代前期の竪穴建物、自然流路 中世の井戸、掘立柱建物
8	金生寺遺跡	亀岡市曾我部町	<ul style="list-style-type: none"> 古墳時代前期の溝や貯留施設、木組遺構や井堰などの水流調整施設を検出 流路内から建築部材や堤の基礎構造物である加工木を検出
	法貴峠20号墳		<ul style="list-style-type: none"> 全長7.2m、玄室長3.1m、玄室幅1.9mの両袖式横穴式石室。玄室床面で礫敷と棺台を検出。羨門部で閉塞石の一部が残存。型式の異なる須恵器や金属器、玉類、耳環が出土 墳丘内列石及び周溝の一部を検出 墳丘平坦部に石組みの中世墓1基検出
10	犬飼遺跡	亀岡市曾我部町	<ul style="list-style-type: none"> 古墳時代前期の竪穴建物 古墳時代前期の井堰、水場遺構 中世の掘立柱建物、区画溝
19	栢ノ木遺跡 (井手寺跡)	綴喜郡井手町	<ul style="list-style-type: none"> 井手寺の東隣接地で切石を意図した塔の乱石積基壇を検出 基壇周囲には地覆及び石組雨落ち溝 数多くの軒瓦、鬼瓦、三彩垂木先瓦、奈良三彩、風鐸の風招、銭貨など

新型コロナウイルスの感染予防等により、現地説明会は見送ったが、下表のとおり、報道発表と一部については遺物展示や現地公開を実施した。

開催日	遺跡名	備考
9月17日(木)	上野遺跡(京丹後市)	報道発表(発掘調査は昨年度終了)
9月18日(金) ～22日(火・祝)		遺物展示を京丹後市立古代の里資料館で実施 見学者581名
10月3日(土)～ 11月3日(火・祝)		遺物展示を向日市文化資料館「令和2年度調査研究成果展 乙訓古墳群出現前夜」展で併設展示
10月12日(月)	金生寺遺跡(亀岡市)	報道発表
11月12日(木)	小樋尻遺跡(城陽市)	報道発表
11月13日(金)	満願寺跡(舞鶴市)	出土遺物についての報道発表
11月14日(土) ～23日(月・祝)		遺物展示を舞鶴市郷土資料館で実施 見学者245名
11月25日(水)	法貴峠20号墳(亀岡市)	報道発表
11月28日(土)		現地公開 参加者83名

開催日	遺跡名	備考
11月28・29日(土、日)、12月5・6日(土、日)	稚児野遺跡(福知山市)	遺物展示を福知山市夜久野町化石郷土資料館で実施 見学者156名
2月24日(土)	芝山遺跡	報道発表

調査報告書については、300部印刷し、以下のとおり刊行した。内容は、資料2のとおりである。

『京都府遺跡調査報告集 第181冊』 3月刊行

(2) 普及啓発事業

(ア) 設立40周年記念事業

○設立40周年特別展覧会(京都府教育委員会委託事業)

「動乱の世から太平の世へー戦国を乗り越えた人々のくらしー」

会場：京都府京都文化博物館

会期：令和2年12月12日(土)～令和3年1月31日(日)

概要：動乱の世から太平の世へと変貌を遂げる京のまちや各地のようす、そして、そこに暮らす人々のくらしを発掘調査の成果を中心に紹介した。

参加者：3,313名

○設立40周年特別講演会(京都府教育委員会委託事業)

会場：京都産業会館ホール

日時：令和2年12月6日(日) 午後1時～午後4時30分

概要：戦国時代末期・近世初頭の激動の時代から近世の太平の時代に焦点を当て、京都府内の歴史研究や発掘調査を中心に時代の移り変わりについて、3題の講演・報告を行った。

特別講演：「かわりゆく京都 秀吉のお土居と家康の二条城」

藤井 讓治 京都大学名誉教授

講演：「戦国・桃山時代と京都のすがた」

山田 邦和 同志社女子大学教授

報告：「遺物からみる戦国・江戸のくらし」

加藤 雄太 当調査研究センター調査員

参加者：105名

(イ) 埋蔵文化財セミナー（京都府教育委員会委託事業）

埋蔵文化財セミナーの実施及び実施予定は、次のとおりである。

回数	開催日	実施内容	会場
144	令和2年 9月26日 (土)	『中世の騒乱と武士の館』 ・堀の内には誰が住んだのか？ 当調査研究センター 桐井 理揮 調査員 ・文献資料にみる丹波の中世城館と領主 亀岡市文化資料館 飛鳥井 拓 学芸員 ・中世・丹波地域の城館の様相 京都府教育委員会 中居 和志 副主査	ギャラリーかめおか (亀岡市) 参加者 110名
145	令和3年 3月6日 (土)	『恭仁宮と長岡京 その実態に迫る！』 ・恭仁宮中心部の構造 一朝堂院区画を中心 として－ 京都府教育委員会 中居 和志 副主査 ・長岡京遷都の実態 一周到に計画された遷 都－ 当調査研究センター 小池 寛 調査課長	ウイングス京都 (京都市) 参加者 120名

(ウ) 機関誌

機関誌『京都府埋蔵文化財情報』は、次のとおり刊行した。内容は資料2のとおりである。

第138号	8月刊行	1,500部
第139号	3月刊行	1,500部

(エ) 埋蔵文化財リーフレット（京都府教育委員会委託事業）

府内の発掘調査成果等を発信するリーフレット『もっと知りたい京都の遺跡』を年2回発行した。【A3版、二つ折り、カラー刷り、各5,000部】

第7号「丹波 土の城・石の城」9月発行
第8号「かつて京都に火山灰が降った The Age of Volcanic Ash in Kyoto」3月発行

(オ) 出前講座・体験授業等

京都府教育委員会、教育局、市町村及び府内小・中学校等と連携して、企画展示や出前講座、夏休み考古学体験講座「勾玉をつくろう！」（京都府教育委員会委託事業）を実施し、文化財保護の啓発を行った。また、あわせて、ホームページで啓発事業の活動報告を行った。

○京都府庁2号館ロビー展示

展示名 「京都府庁を掘る」

期間 令和2年6月12日（金）～6月16日（火）

○夏休み考古学体験講座（京都府教育委員会委託事業）

講座名 「勾玉をつくろう！」

開催日 第1回 令和2年8月8日(土)午前10時～ 参加者 11名
第2回 令和2年8月8日(土)午後2時～ 参加者 7名
第3回 令和2年8月9日(日)午前10時～ 参加者 9名
第4回 令和2年8月9日(日)午後2時～ 参加者 10名
第5回 令和2年8月10日(月)午前10時～ 参加者 11名
第6回 令和2年8月10日(月)午後2時～ 参加者 9名

会場 当調査研究センター研修室

対象 乙訓管内の小学5～6年生

参加者 57名

○企画展示「府庁周辺の桃山文化について」

会場 京都府立図書館2階ナレッジベース

期間 令和2年8月28日(金)～9月13日(日)

見学者 337名

○第一学院高等学校出前授業

講座名 「歴史・文化財の楽しさと将来の職業」

開催日 令和2年10月14日(水)午前10時25分～正午

会場 第一学院高等学校京都キャンパス

講師 肥後事務局次長

参加者 14名

○京田辺市立田辺東小学校出前授業

講座名 「勾玉をつくろう！」

開催日 令和3年1月13日(水)午前10時40分～正午
午後1時30分～午後2時50分

会場 京田辺市立田辺東小学校理科室

講師 肥後事務局次長・小池課長・松尾主査

参加社 34名

(カ) 「関西考古学の日2020」関連事業

全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロックの加盟12法人が各種イベントを開催する「関西考古学の日2020」は、新型コロナウイルスの感染予防の観点から事務局により中止が決定されたため、当調査研究センターが例年実施してきた考古学講座についても中止した。

(キ) 「向日市まつり」考古学体験ブース（京都府教育委員会委託事業）

京都向日町競輪場において11月中旬に開催される「向日市まつり」において、考古学が体験できるブースを運営する予定であったが、新型コロナウイルスの感染予防から催し物自体が中止となった。

(ク) **共同研究**

当調査研究センターにとって必要な調査研究を職員が共同あるいは単独で行い、その研究成果を『京都府埋蔵文化財情報』に公表して、京都府における埋蔵文化財の保存と活用に資する。なお、今年度に採択された研究事業は下表のとおりであるが、新型コロナウイルスの感染防止から資料調査を依頼した機関先での調査が一部制限された。

	申請者	共同研究者	研究テーマ	備考
1	面 将道	中川 和哉	瀬戸内技法の流入時期について	継続・最終年度
2	加藤 雄太	—	中世丹後の土器・陶磁器	個人研究・最終年度
3	桐井 理揮	高野 陽子	擬凹線文土器様式の成立と展開	新規
4	菅 博絵	伊賀 高弘	城陽市芝山古墳群出土鏡の研究	新規単年度

6 その他

(1) **専門研修**

文化庁主催の埋蔵文化財担当職員等講習会（リモート研修）を受講し、職員の資質向上に取り組んだ。また、9月24日（木）・25日（金）に実施された独立行政法人奈良文化財研究所主催の担当者等専門研修「自然科学分析外注課程」を竹村主任が受研した。

(2) **一般研修**

人権研修推進委員会が中心となって行う職場研修のほか、京都府教育庁主催の行政研修（リモート研修）等に参加した。

(3) **遺跡検討会**

満願寺跡について職員とともに上原真人理事及び舞鶴市郷土資料館吉岡博之館長、宮津市教育委員会河森一浩主任の協力を得て、遺構・遺物の検討を行った。また、平安京跡について職員とともに日向理事及び京都市文化財保護課馬瀬智光課長補佐の協力を得て、遺構・遺物の検討を行った。その検討内容について刊行予定の報告書に反映させた。

(4) **講師派遣**

京都府立大学、同志社大学、佛教大学、神戸女子大学からの講師派遣依頼により職員を派遣した。